

まいにち奇跡。



2021年8月11日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<https://www.kaiyukan.com/>
(担当：萱島、新谷、松村、山田、柿本)

絶滅危惧種の海鳥、エトピリカの雛が誕生しました

～ 「アリューシャン列島」水槽にて親鳥が子育て中です ～

海遊館（大阪市港区）では2021年7月30日（金）に、エトピリカの雛が誕生しました。
海遊館でのエトピリカの繁殖は、飼育開始3年間で3度目となります。



エトピリカの雛（2021年7月30日撮影）



エトピリカの雛（2021年8月5日撮影）

6月19日に館内「アリューシャン列島」水槽内にて卵を確認しました。親鳥が抱卵を続け、7月30日の11時頃に孵化を確認しました。また、孵化当日に親鳥からの摂餌を確認しています。

現在、雛は巣穴の中で親鳥と過ごしているため、水槽外部から様子を見るのが難しいですが、孵化後50日ほどで巣立ちを迎えます。また、今後2～3年かけて黒い羽と鮮やかで美しい嘴を持つ成鳥と同じ姿になります。

今後も、エトピリカをはじめとする多様な生き物たちや自然環境の保全に貢献するとともに、エトピリカの生態や魅力を発信していきたいと考えています。

【 広報連絡先 】

現在、雛は巣穴の中におり姿を見るのが難しいですが、提供可能な映像・写真がございます。
希望される場合は、広報チームまでご連絡ください。

海遊館 広報チーム (06-6576-5529)

【 誕生したエトピリカの雛について 】

産卵日：2021年6月19日

孵化日：2021年7月30日

大きさ：体重 55.6g（孵化日）

体重 104.2g（8/7時点）

親鳥：父親 愛称「おこっぺ」

母親 愛称「ところ」

（2019年、2020年と同ペア）



エトピリカの雛（2021年8月5日撮影）

【 エトピリカについて 】

和名：エトピリカ

英名：Tufted puffin

学名：*Fratercula cirrhata*

チドリ目ウミスズメ科に分類される海鳥の一種で全長約40cmになる。

北太平洋の亜寒帯域に広く生息する海鳥で、現在、日本国内では北海道の一部地域でのみ繁殖が確認されているものの、その数は少なく、環境省レッドリストにて絶滅危惧 IA 類に分類されている。

島や海岸の崖上部の土中に巣穴を掘り、集団で営巣し、メスは1回の産卵で1個の卵を産む。海遊館では現在、今回誕生した雛を含む7羽を飼育展示している。



エトピリカ（成鳥）

※レッドリスト絶滅危惧 IA 類

レッドリストは「日本に生息又は生育する野生生物について、専門家で構成される検討会が、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、その結果をリストにまとめたもの」。

また、絶滅危惧 IA 類は「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの」を指す。

（いずれも環境省 HP を参照）